



Copyright © 2021 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 製品の利用対象
- 3. IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Spring からの変更点
 - 3.1. 追加された主な機能
 - 3.2. システム要件
 - 3.3. 検証済み環境
 - 3.4. サードパーティライブラリ
 - 3.5. 制限事項
- 4. アップデート時の注意点
 - 4.1. 2019 Summer(Waltz) からアップデート
 - 4.2. 2020 Summer(Zephyrine) からアップデート
- 5. 機能一覧
- 6. システム要件
 - 6.1. サーバ要件
 - 6.1.1. intra-mart Accel Platform
 - 6.2. クライアント要件
 - 6.3. ライセンス要件
- 7. 検証済み環境
 - 7.1. サーバ環境
 - 7.2. クライアント環境
- 8. サードパーティ ライセンス一覧
- 9. 制限事項
 - 9.1. コンテンツ
 - 9.2. デザイナ および 実行画面
 - 9.2.1. 変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。
 - 9.2.2. Internet Explorer 11上ではデザイナのダイアログをリサイズできません。
 - 9.2.3. デザイナ画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。
 - 9.2.4. 動画埋め込みエレメントで autoplay を true に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。
 - 9.2.5. マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。
 - 9.2.6. 各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「match-parent」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。

- 9.2.7. CSSエディタの編集内容によりデザイナーの見た目が壊れる可能性があります。
- 9.2.8. 整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。
- 9.2.9. マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。
- 9.2.10. 互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。
- 9.2.11. カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
- 9.2.12. リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
- 9.2.13. IM-Repository定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約があります。
- 9.2.14. リッチテーブルエレメントは、変数の入力規則に対応していません。
- 9.2.15. ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。
- 9.2.16. 利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。
- 9.2.17. コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。
- 9.2.18. サイドメニューエレメントでは、認可による機能の制限を行っていません。
- 9.2.19. カスタムスクリプト内で `$im.event.mouse` を利用して取得できる値について、制限があります。
- 9.2.20. Internet Explorer を利用した場合、デザイナーでエレメントが選択されていることを示す枠が外側にずれます。
- 9.2.21. スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。
- 9.2.22. マップ型の配下または配列型変数の要素となる変数が更新されても、エレメントが再レンダリングされません。
- 9.2.23. エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。
- 9.2.24. Internet Explorer 11 の場合、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」に動画、音声ファイルを埋め込んでプレビュー画面を閉じたりコンテナページを切り替えるとリソースが表示、再生され続けます。
- 9.2.25. Internet Explorer 11 かつ コンテンツ種別「Bulma」でアクション「ページを○で開く」を使用してダイアログを表示した場合、横幅が適切に広がりません。
- 9.2.26. Internet Explorer 11 を利用した場合、フォーム部品のエレメントに `readonly` を設定してもクリックしたときにキャレットが表示されます。
- 9.2.27. Internet Explorer 11 を利用しており、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Adobe Reader をインストールする必要があります。
- 9.2.28. 利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。
- 9.2.29. バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、https でのアクセスが必要です。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Summer リリースノート 初版 2021-08-01

- 9.2.30. リッチテーブル要素のドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。
- 9.2.31. 「変数○に一覧データ○から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。
- 9.3. ルーティング
- 9.4. テンプレート
 - 9.4.1. 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。
- 9.5. エlementセット
 - 9.5.1. コンテナページ直下のみ配置可能なElementを登録したElementセットを使用した場合、テーマが適用されないことがあります。
- 9.6. インポート・エクスポート
- 10. 保証規程
 - 10.1. 保証内容及び対象
 - 10.2. 保証の適用除外
 - 10.3. 免責
 - 10.4. その他の契約との関係
- 11. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2021-08-01	初版
------------	----

本書の内容

本書ではIM-BloomMaker for Accel Platformのリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用した画面の作成および、作成された画面の利用者

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Summer リリースノート 初版 2021-08-01 IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Spring からの 変更点

追加された主な機能

- バーコードを読み取るエレメントを提供します。
- QRコードを読み取るエレメントを提供します。
- エレメント「トグルスイッチ」を追加します。
- リッチテーブルに、ドラッグ・アンド・ドロップで列の幅を変更できる機能を追加します。
- リッチテーブルの列の幅を指定できるように改善します。
- アクションアイテム「変数○に一覧データ○から選択したものを複数代入する」を提供します。
- 「ViewCreator ルーティング○にリクエストを送信する」アクションアイテムを提供します。
- 「IM-LogicDesigner フロールーティング○にリクエストを送信する」のパラメータで「リクエストデータ」を廃止し「リクエストパラメータ」に統一します。
- コンテンツカテゴリおよびコンテンツに対して認可によるアクセス制御を行えるように改善します。
- intra-mart Accel Platform のテーマ色と同系統の配色で Bulma を利用できるようにします。
- エレメントセットをコピーできる機能を提供します。
- 変数の多言語において、CSV のインポート・エクスポート機能を追加します。
- アクションアイテムに説明欄を追加します。
- プレビューの初期解像度を「PC」に変更します。
- Bulmaのバージョンを0.9.3にバージョンアップします。
- Bulma のフィールドラベルに、必須入力であることを示す機能を追加します。
- Bulmaのフィールドヘルプ、入力規則エラーメッセージにアイコンを配置できるように改善します。

システム要件

- intra-mart Accel Platform 2021 Summer(Cattleya) のシステム要件に準じて変更しました。

検証済み環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Summer(Cattleya) の検証済み環境に準じて変更しました。

サードパーティライブラリ

- 追加・変更

- encoding-japanese を追加しました。
- jsqr を追加しました。
- bulma を 0.9.0 から 0.9.3 に変更しました。
- 削除
 - 削除されたサードパーティライブラリはありません。

制限事項

- 追加された制限事項
 - 「[利用する端末、ブラウザによってinputmodeで指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。](#)」
 - 「[バーコードリーダー、QRコードリーダーエレメントを利用する場合、httpsでのアクセスが必要です。](#)」
 - 「[リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。](#)」
 - 「[「変数〇に一覧データ〇から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。](#)」
- 変更された制限事項
 - 変更された制限事項はありません。
- 削除された制限事項
 - 削除された制限事項はありません。

2019 Summer(Waltz) からアップデート



注意

詳細は [アップデート時に IM-Juggling で必要なメンテナンス作業](#) を参照してください。

2020 Summer(Zephyrine) からアップデート

2020 Summer(Zephyrine) 以前が含まれていた環境を 2020 Winter(Azalea) 以降にアップデートする場合、テナント環境セットアップ後に intra-mart Accel Platform を再起動してください。



注意

詳細は、[テナント環境セットアップ後の各種メンテナンス（アップデートによるメンテナンス）](#) を参照してください。

なお、2020 Winter(Azalea) の war ファイルをデプロイした後、テナント環境セットアップ前の場合、intra-mart Accel Platform 起動時に以下のエラーが出力されます。

```
[ERROR] j.c.i.s.s.e.i.AbstractSystemExecutorService - [E.IWP.SERVICE.00015] バックエンド処理の実行に失敗しました。
```

PostgreSQL の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: org.postgresql.util.PSQLException:  
ERROR: 列route.content_versionは存在しません
```

Oracle Database の場合

```
jp.co.intra_mart.mirage.exception.SQLRuntimeException: java.sql.SQLSyntaxErrorException:  
ORA-00904: "ROUTE"."CONTENT_VERSION": 無効な識別子です。
```

テナント環境セットアップ後に再起動することで、当該エラーは出力されなくなり、正常に動作します。

機能一覧

- IM-BloomMaker for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
コンテンツ機能	アプリケーション画面作成に必要な定義情報を管理する機能です。
ルーティング機能	アプリケーション画面のURLや認可など、ユーザがアプリケーション画面にアクセスするために必要な情報を管理する機能です。
テンプレート機能	雛形となる コンテンツを管理する機能です。
エレメントセット機能	エレメントセットを管理する機能です。
デザイナー機能	ブラウザ上でアプリケーション画面のデザイン編集を行う機能です。
インポート・エクスポート機能	<p>IM-BloomMakerに関連する定義情報を他環境に移行するための機能です。</p> <p>以下の情報をインポート・エクスポートできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンテンツ定義（デザイナーの定義情報を含む） ■ ルーティング定義（認可設定はインポート・エクスポートできません。） ■ テンプレート定義 ■ エレメントセット定義

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Summer(Cattleya)
- 利用するintra-mart Accel Platformのサーバ要件に準じます。



警告

Microsoft SQL Serverは、性能・パフォーマンスに関する問い合わせが数多く報告されています。十分な検証とチューニングが必要です。



注意

IBM製品（WebSphere Application Server）をご検討の場合は事前に弊社までご相談ください。

クライアント要件

- 利用するintra-mart Accel Platformのクライアント要件に準じます。

ライセンス要件

IM-BloomMaker for Accel Platformを利用するためには、下記のライセンスが必要です。

種別	ライセンス
プラットフォーム	intra-mart Accel Platform [Advanced Edition]
エクステンション	IM-BloomMaker for Accel Platform



コラム

- IM-BloomMaker for Accel Platform「エンタープライズ」に同梱されており、別売はありません。

- 以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせです。

サーバ環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Summer(Cattleya)の検証済みサーバ環境に準じます。

クライアント環境

- intra-mart Accel Platform 2021 Summer(Cattleya)の検証済みクライアント環境に準じます。

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
animejs	3.1.0	MIT	https://animejs.com/
Apache POI	3.9	ASL	http://poi.apache.org/
axios	0.21.1	MIT	https://github.com/axios/axios
babel	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/
babel-polyfill	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-polyfill
babel-preset-env	7.4.0	MIT	https://babeljs.io/docs/en/babel-preset-env
bluebird	3.5.4	MIT	http://bluebirdjs.com/
bulma	0.9.3	MIT	https://bulma.io/
dialog-polyfill	0.5.0	BSD	https://github.com/GoogleChrome/dialog-polyfill/
encoding-japanese	1.0.30	MIT	https://github.com/polygonplanet/encoding.js
Font Awesome(Icon)	5.13.1	CC BY 4.0	https://fontawesome.com/
Font Awesome(Web Font)	5.13.1	SIL OFL 1.1	https://fontawesome.com/
html2canvas	1.0.0-rc.3	MIT	https://html2canvas.hertzen.com/
iziToast	1.4.0	ASL	http://izitoast.marcelodolza.com/
jsqr	1.4.0	ASL	https://github.com/cozmo/jsQR
lodash	4.17.11	MIT	https://lodash.com/
monaco-editor	0.18.1	MIT	https://microsoft.github.io/monaco-editor/
promise	8.0.3	MIT	https://www.npmjs.com/package/promise
Squire	1.9.0	MIT	http://neilj.github.io/Squire/
vue-router	3.0.6	MIT	http://router.vuejs.org/
vuejs	2.5.17	MIT	https://jp.vuejs.org/
vuedraggable	2.23.2	MIT	https://www.npmjs.com/package/vuedraggable
vuex	3.1.0	MIT	https://vuex.vuejs.org

コンテンツ

2021 Summer(Cattleya) 時点では制限事項はありません。

デザイナー および 実行画面

変数エディタでマップを扱う場合、マップ内の各要素は同じ型を選択してください。

変数でマップを使用する場合、値の型は全て同一にしてください。

Internet Explorer 11上ではデザイナーのダイアログをリサイズできません。

Internet Explorer 11がCSS の resize プロパティに対応していないことによる制限です。
全てのエディタ（CSSエディタ、JSONエディタ、アクションエディタ、変数エディタ）が対象です。

デザイナー画面での見た目と、プレビュー画面およびアプリケーション実行時の画面の見た目は異なります。

デザイナー画面で利用できるプロパティの一部に、プレビュー画面およびアプリケーション実行時のみ適用されるものがあるためです。

動画埋め込みエレメントで autoplay を true に設定しても、自動再生されないブラウザがあります。

ブラウザによりメディアの自動再生を許可する条件が異なるためです。

マップ型の変数を別の変数にアクションを用いて代入した場合、アクションアイテムによって表示が異なります。

- 「変数○に○を代入する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、<マップ>と表示されます。
- 「カスタムスクリプトを実行する」アクションアイテムを使用して変数の代入を行った場合、{ }と表示されます。

各エレメントの共通プロパティにある「テキストスタイル」カテゴリ内の「横揃え」プロパティにて、「match-parent」を設定してもスタイルに設定されないことがあります。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Summer リリースノート 初版 2021-08-01
「match-parent」プロパティに関するブラウザの仕様は草案段階であり、ブラウザによって実装状況・挙動が異なります。
各ブラウザの対応状況は「[MDN web docs](#)」を参照ください。

CSSエディタの編集内容によりデザイナーの見た目が壊れる可能性があります。

例として以下のようなCSSを設定した場合、デザイナーの見た目が壊れることを確認しています。

```
html {  
  font-size: 100px;  
}
```

```
a: a:visited, a:link { color: #000 }
```

整数を入力するプロパティに小数を入力した場合、四捨五入、または切り捨てされた値が利用される場合があります。

小数を入力した結果バリデーションエラーが発生しても、画面上では四捨五入、または切り捨てで丸め処理された値が適用されます。

マップ型とマップ型以外の型の相互変換はできません。

アクションを使用してマップ型の変数に代入した値をマップ型以外の変数に再代入することはできません。

互換テーマを利用した場合、ブラウザによってレイアウトが崩れて表示される場合があります。

互換テーマを利用した場合、画面幅が変わる事によりレイアウトが崩れて表示される場合があります。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。

カスタムスクリプトで利用できるグローバルオブジェクトは一部を除いて機能を制限しています。
そのため、カスタムスクリプト内でDOMを操作することはできません。

リッチテキストボックスが読み取り専用の場合、Google Chrome でリッチテキストの値をコピーするとブラウザのコンソールにエラーが出力されます。

使用しているライブラリ (Squire) の不具合により、ブラウザのコンソールにエラーが出力されます。
なお、動作に影響はありません。

IM-Rensitorrv定義から変数・定数・入力を作成する際に、対応していない制約

IM-Repository の下記制約が対象です。

- 数値（最小整数桁、最大整数桁、最小小数桁、最大小数桁）
- 日付時刻
- 独自に追加した制約

リッチテーブルエレメントは、変数の入力規則に対応していません。

変数の入力規則に則っていない場合エレメントが赤枠で囲まれますが、リッチテーブルはこれに対応していません。

ファイルアップロードエレメントでサイズが大きいファイルを指定すると、エラーページが表示されることがあります。

ファイルアップロードエレメントを使用した画面で、100MB を超えるファイルを選択すると、ブラウザにエラーページが表示され、それ以降の処理が継続できなくなることがあります。
この事象が発生する条件となるファイルサイズは、使用するブラウザや、クライアントのマシンスペックによって異なります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

利用するブラウザによって、見た目や挙動が異なるエレメントがあります。

コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。

コンテンツ種別「Bulma」のアプリケーション画面では、画面幅を超えた要素があっても横スクロールが発生しません。

サイドメニューエレメントでは、認可による機能の制限を行っていません。

サイドメニューエレメントでは、以下の機能に関わるアイコンが認可の有無に関わらず表示されます。

- IM-ContentsSearch モジュールの全文検索機能
- マイメニュー機能

そのため、アクセス権限のない画面への遷移や機能を利用しようとした場合、403 エラーが発生します。

カスタムスクリプト内で `$im.event.mouse` を利用して取得できる値について、制限があります。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Summer リリースノート 初版 2021-08-01
Mac を利用している場合は、以下の値は常に false です。

これは、Mac OS がどのマウスボタンが押されているかを判別する機能を有していないためです。

- `$im.mouse.leftButton`
- `$im.mouse.rightButton`
- `$im.mouse.wheelButton`
- `$im.mouse.extraButton1`
- `$im.mouse.extraButton2`
- `$im.mouse.isExtraButton()`

また、iPhone, Android, iPad を利用している場合、上記の API はサポート対象外です。

Internet Explorer を利用した場合、デザイナーでエレメントが選択されていることを示す枠が外側にずれます。

Internet Explorer を利用した場合、デザイナーでエレメントが選択されていることを示す枠が外側にずれます。

この結果、選択状態を示す枠が隣り合うエレメントの後ろやコンテナの外に隠れてしまうという事象が発生します。

当該制限事項は 2020 Winter アップデートにて実施した以下の要件対応に伴うものです。

Internet Explorer 以外のサポート対象ブラウザでは発生しません。

入力規則エラーの赤枠およびデザイナーでの選択状態を示す枠を表示する機構を改善します。

<https://issue.intra-mart.jp/issues/32454>

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

スプレッドシートエレメントにおいて、バインド対象のテーブルの左右にテーブルを配置してはいけません。

バインド対象のテーブルは、バインドする配列変数の長さによってテーブルの行数が動的に変化します。

このとき、行の挿入または削除が行われており、バインド対象のテーブルの左右に存在するテーブル情報が壊れてしまいます。

シートにテーブルを複数配置したい場合は、同一行にテーブルが複数存在しないようにしてください。

マップ型の配下または配列型変数の要素となる変数が更新されても、エレメントが再レンダリングされません。

マップ型の配下または配列型変数の要素となる変数が更新されても、エレメントが再レンダリングされません。

例えば、以下のような変数があり、エレメントのプロパティに `$variable.object` が指定されている場合を考えます。

```
{
  "object": {
    "string": "string"
  }
}
```

このとき、`$variable.object.string` を更新しても、`$variable.object` が更新されたとはみなされず、エレメントが再レンダリングされません。

強制的にエレメントを再レンダリングさせたい場合は、以下のようなカスタムスクリプトを実行してください。

```
$variable.object = $im.resolve("$variable.object");
```

上記はマップ型変数における説明ですが、配列の変数でも同様です。

例えば、以下の事象は当該制限事項によるものです。

1. 「リッチテーブル」エレメントの `dataSource` プロパティに指定されている変数の配下の変数を更新したが、リッチテーブルの見え目が更新されない。
2. 「履歴・コメント」エレメントの `eventGroupKey` プロパティに指定されている変数の配下の変数を更新したが、履歴・コメントエレメントがリフレッシュされない。
3. 「テーブルバインド設定」エレメントの `bindVariable` プロパティに指定されている変数の配下の変数を更新したが、スプレッドシートエレメントの見え目が更新されない。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Android の Google Chrome では PDF は表示されません。

Android の Chrome には PDF を表示するビューアが搭載されていないためです。

Internet Explorer 11 の場合、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」に動画、音声ファイルを埋め込んでプレビュー画面を閉じたりコンテナページを切り替えるとリソースが表示、再生され続けます。

Internet Explorer 11の場合、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」に動画、音声ファイルを埋め込んでプレビュー画面を閉じたりコンテナページを切り替えるとリソースが表示、再生され続けます。

動画、音声ファイルをページに埋め込みたい場合は「動画埋め込み」エレメント、「音声埋め込み」エレメントを利用してください。

Internet Explorer 11 かつ コンテンツ種別「Bulma」でアクション「ページを○で開く」を使用してダイアログを表示した場合、横幅が適切に広がりません。

— IM-BloomMaker for Accel Platform 2021 Summer リリースノート 初版 2021-08-01
Internet Explorer 11 かつ コンテンツ種別「Bulma」でアクション「ページを○で開く」を使用してダイアログを表示した場合、横幅が適切に広がりません。
レスポンスに表示されるエレメント（例：カラム、水平フィールド）を使用したレイアウトが崩れる場合があります。

Internet Explorer 11 を利用した場合、フォーム部品のエレメントに `readonly` を設定してもクリックしたときにキャレットが表示されます。

Internet Explorer 11 を利用した場合、フォーム部品のエレメントに `readonly` を設定してもクリックしたときにキャレットが表示されます。
(例：テキスト入力、テキストエリア)

Internet Explorer 11 を利用しており、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Adobe Reader をインストールする必要があります。

Internet Explorer 11 を利用しており、エレメント「外部リソース埋め込みコンテナ」で PDF ファイルを指定する場合、Adobe Reader をインストールする必要があります。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

利用する端末、ブラウザによって `inputmode` で指定したソフトウェアキーボードの見た目が異なります。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、`https` のアクセスが必要です。

バーコードリーダー、QR コードリーダーエレメントを利用する場合、`https` のアクセスが必要です。
カメラを有効にした際に、権限を求められることがあります。許可することで利用可能です。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

リッチテーブルエレメントのドラッグ&ドロップによるセルのリサイズ機能は、モバイル端末に対応していません。

「変数○に一覧データ○から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

「変数○に一覧データ○から選択したものを代入する」を使用して一覧データを表示した場合、列名クリックにより降順でソートされます。

2021 Summer(Cattleya) 時点では制限事項はありません。

テンプレート

2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合、サムネイルが表示されない場合があります。

- 2019 Summer(Waltz)環境で作成したコンテンツをインポートしコピー元コンテンツとして利用する場合は、デザイナー画面でのUploadを実行してください。

エレメントセット

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを使用した場合、テーマが適用されないことがあります。

コンテナページ直下のみに配置可能なエレメントを登録したエレメントセットを、コンテンツ、または、テンプレートに配置した場合、タグ構造が通常と異なるため、コンテンツ種別で選択したテーマが適用されないことがあります。

配置後のエレメントセットから該当エレメントをドラッグ操作でコンテナページ直下に配置しなおすことで、テーマが適用されます。

インポート・エクスポート

2021 Summer(Cattleya) 時点では制限事項はありません。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、または当社ホームページ（http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=im_bloommaker）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上